

**2018年12月期
決算説明資料**

協和発酵キリン株式会社

2018年度財務レビュー & 2019年度業績予想
中期経営計画の今後の見通し
株主還元策について
R&Dレビュー
ビジネスピックアップ

代表取締役社長COO

宮本昌志

Q&A

代表取締役社長COO

執行役員研究開発本部長

執行役員経理部長

宮本昌志

佐藤光男

川口元彦

本資料には、当社（国内外の連結子会社を含む）の見通し、目標、計画など、将来に関する記述が含まれています。これら将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報や予測をもとになされた当社の合理的な判断に基づくものですが、実質的にこれら記述とは大きく異なる結果を招く不確実性を含んでいます。

これら不確実性には、国内外製薬業界の事業活動に潜在するリスク、知的財産権にかかるリスク、副作用に関するリスク、法的規制リスク、製品の欠陥等の発生リスク、原燃料価格の変動リスク、製品市況価格の変動リスク、為替・金融市場の変動リスクなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

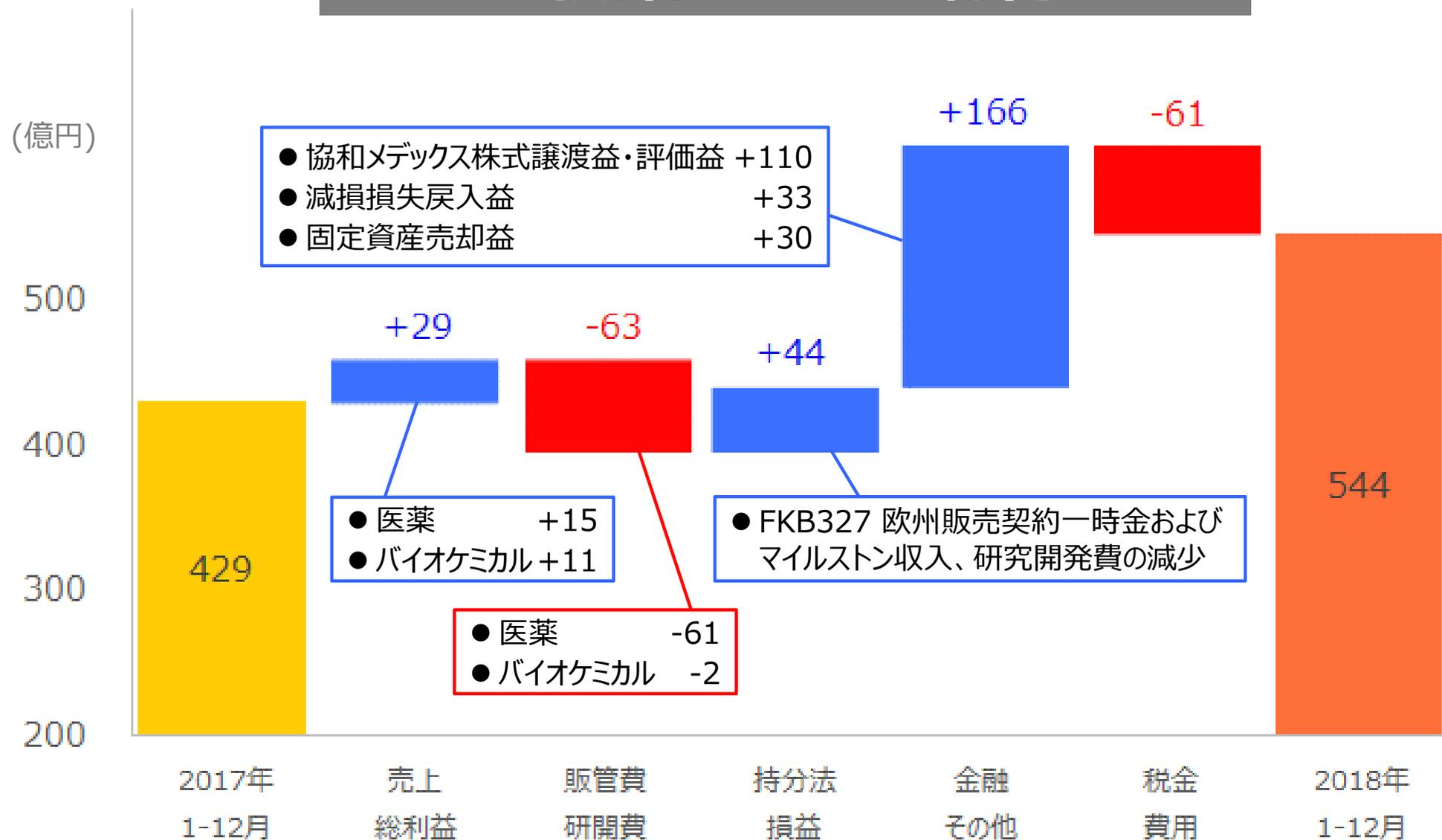
本資料は、投資家の皆様に向けて情報を提供することを目的としたものであり、内容には医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、宣伝広告や医学的アドバイスを目的としているものではありません。

2018年度財務レビュー

	2017年 実績	2018年 実績	増減 (率)	2018年 通期予想 (10/30公表値)	達成率
売上収益	3,534	3,465	-68 (-2%)	3,350	103%
コア営業利益 [コア営業利益率]	577 [16.3%]	587 [16.9%]	+10 (+2%)	540 [16.1%]	109%
当期利益	429	544	+115 (+27%)	520	105%

(単位は億円、単位未満四捨五入)

当期利益 +115億円

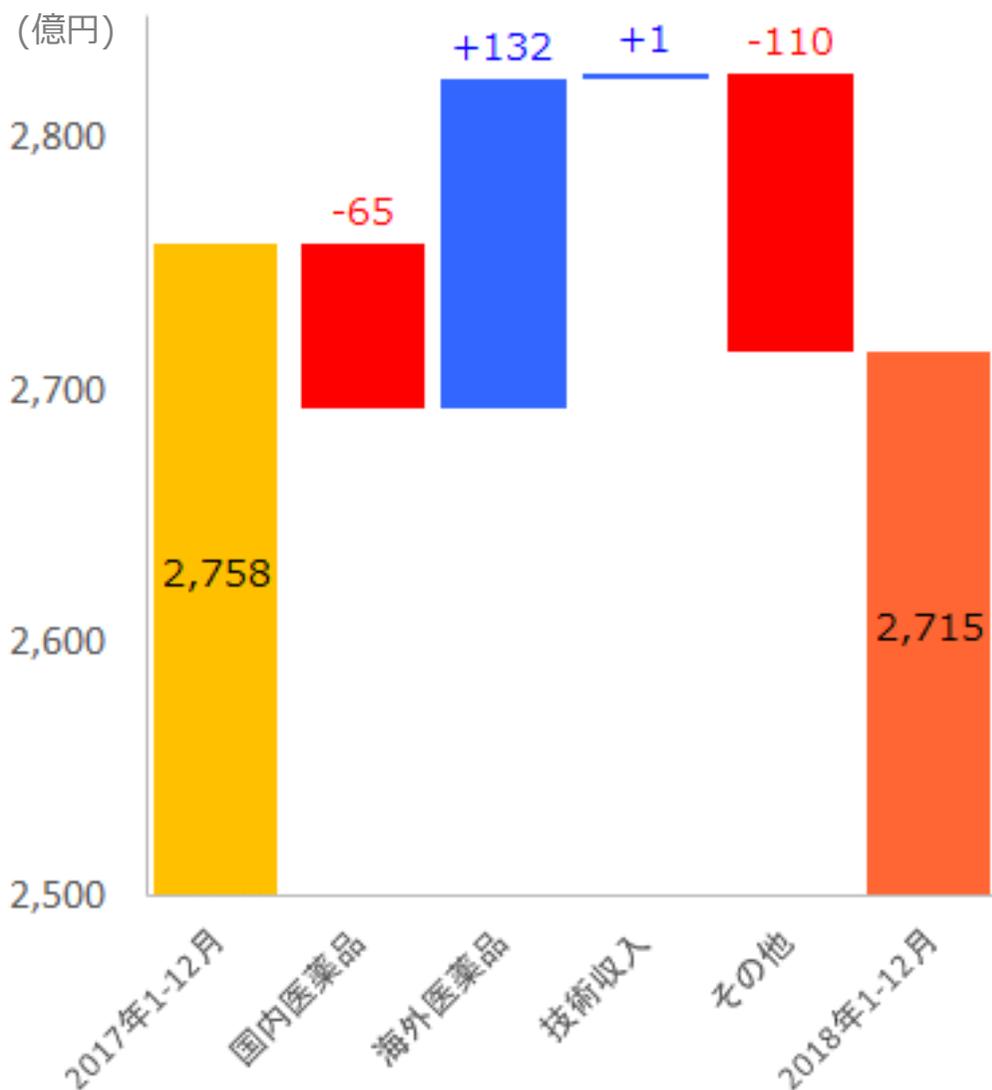


医薬：日本減収、経費増も海外増収、持分法改善でコアOP前年並
 バイオケミカル：売上は減収も収益性改善によりコアOP増益

		2017年 実績	2018年 実績	増減 (率)	2018年 予想 (10/30公表値)	達成率
医薬 事業	売上収益	2,758	2,715	-43 (-2%)	2,620	104%
	コア営業利益 [コア営業利益率]	505 [18.3%]	503 [18.5%]	-2 (-0%)	460 [17.6%]	109%
バイ ケミ カル 事業	売上収益	811	782	-29 (-4%)	760	103%
	コア営業利益 [コア営業利益率]	72 [8.9%]	81 [10.4%]	+9 (+13%)	80 [10.5%]	102%

(単位は億円、単位未満四捨五入)

売上収益 -43億円
(うち為替 +9億円)



● 国内医薬品 -65億円

- [+] 1月発売のリツキシマブBS(+43)、5月発売のオルケディア(+24)、その他の新製品群ジーラスタ(+26)・ルミセフ(+10)・ノウリアスト(+9)・ドボベット(+6)も引き続き順調。
- [-] レグパラは競合品影響で(-53)、ネスプは薬価引下げにより(-26)。長期収載品のアレロック(-33)・コニール(-15)・アサコール(-13)・デパケン(-12)は後発/競合品の影響で減収。

● 海外医薬品 +132億円 (うち為替 +10億円)

- [欧米] 4月発売のCrysvita(+77)および10月発売のPOTELIGEO(+21)が好調に伸長。Abstralも(+8)と引き続き好調。
- [アジア] Regpara(+10)やNesp(+7)など好調。

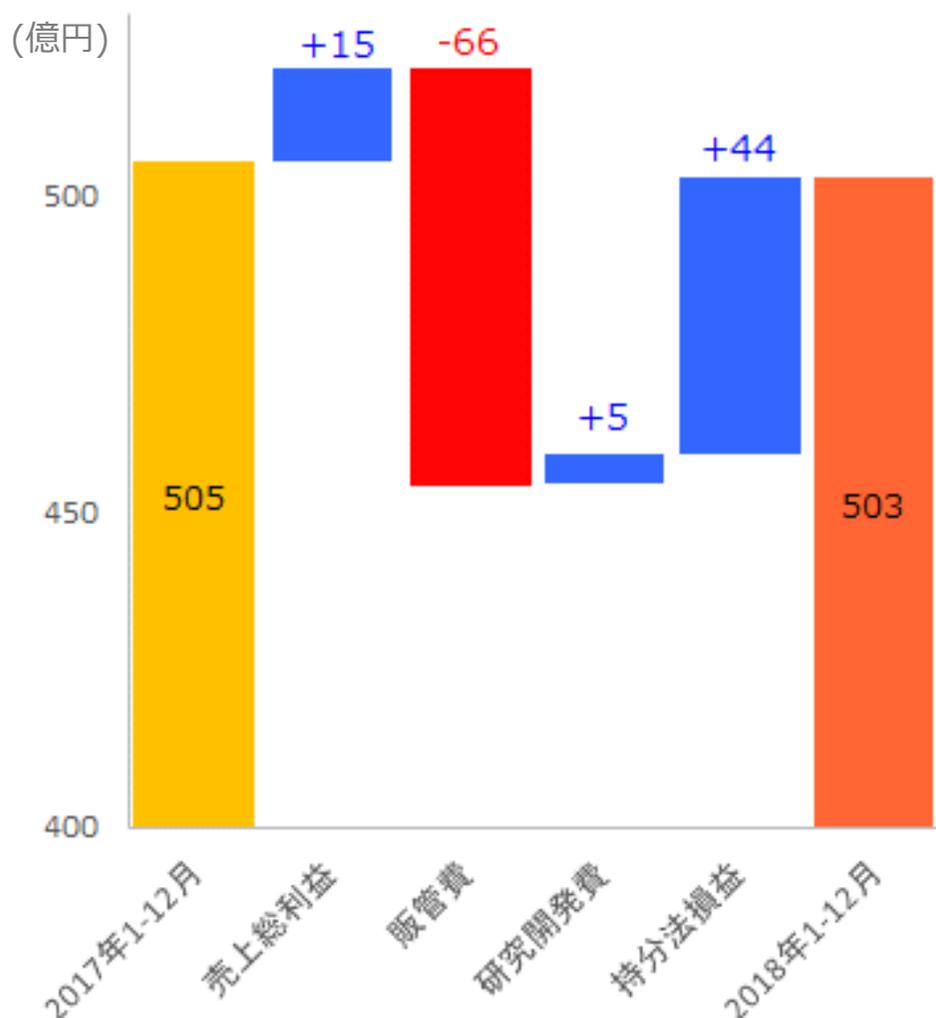
● 技術収入 +1億円 (うち為替 -1億円)

- ベンラリズムブ関連収入は減少も、優先審査バウチャーの売却収益(US\$80.6M×50%)があり前年並み。

● その他 -110億円

- 主に協和メデックス連結除外の影響。

**コア営業利益 -2億円
(うち為替 -2億円)**



● **売上総利益 +15億円 (うち為替 +7億円)**

- 国内の薬価改定や競合品・後発品影響、協和メデックス連結除外等により売上は減収も、海外医薬品の増収により、粗利は増益達成。

● **販管費 -66億円 (うち為替 -8億円)**

- CrysvitaおよびPOTELIGEOの欧米での販売費・上市準備費用が増加。※北米プロフィットシェア費用含む。

● **研究開発費 +5億円 (うち為替 -1億円)**

- [+] KRN23(Crysvita)、KW-0761(POTELIGEO)
- [-] RTA 402-Ph3、KHK4083-Ph2

● **持分法投資損益 +44億円**

- FKB327にかかる欧州販売契約一時金およびマイルストーン収入、研究開発費の減少。

医薬：主要アイテムの売上収益(国内)

KYOWA KIRIN

製品名など	2017年 実績	2018年 実績	前年比	増減要因	2019年 通期予想	前年比
ネスプ ⁺ AG*	563	537	-26(-5%)	薬価基準引下げ	484	-10%
レグパラ	185	133	-53(-28%)	競合品の市場侵食/ オルケディアへの切替	51	-62%
オルケディア	—	24	+24(-%)	新発売	95	+297%
リツキシマブBS	—	43	+43(-%)	新発売	84	+95%
ジーラスタ	181	207	+26(+14%)	着実な市場浸透	228	+10%
アレロック	159	126	-33(-21%)	後発品の市場侵食/ 花粉飛散量の増加	93	-26%
パタノール	128	134	+6(+4%)	花粉飛散量の増加	113	-16%
ノウリアスト	85	94	+9(+10%)	着実な市場浸透	100	+7%
技術収入	24	27	+3(+15%)		44	+62%

(単位は億円、単位未満四捨五入)

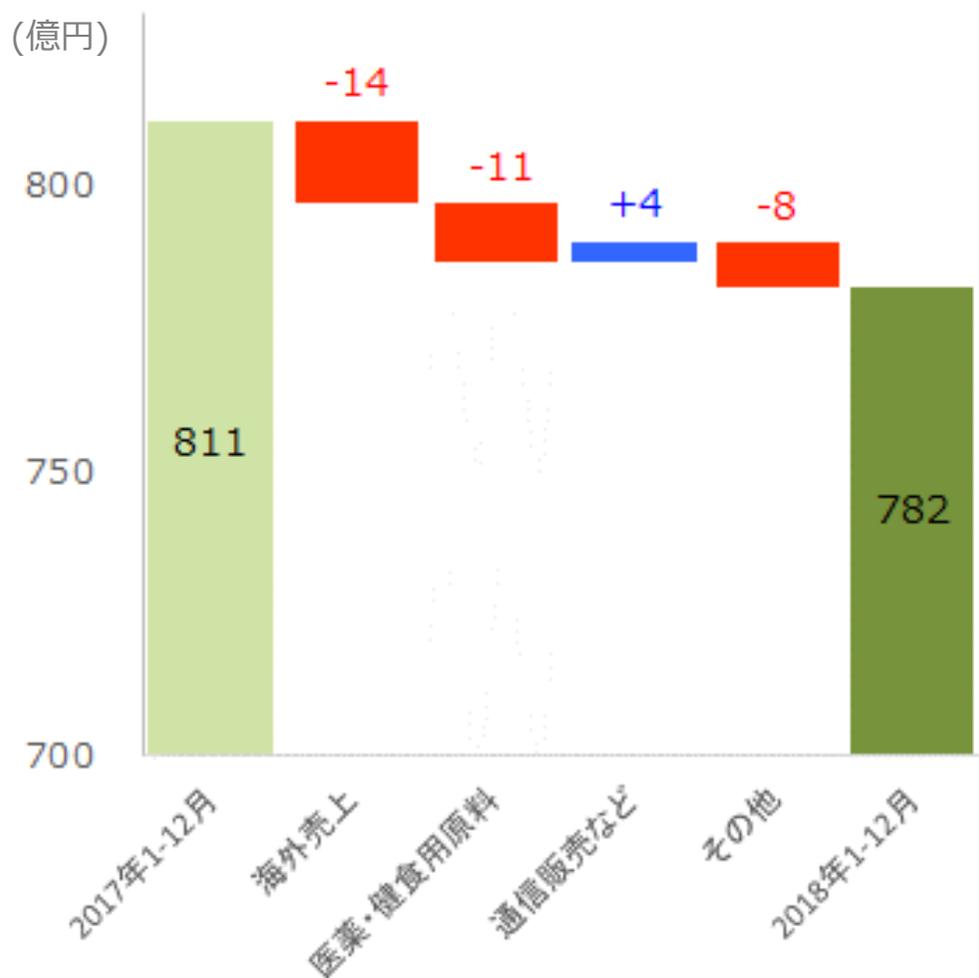
*ネスプAGは2019年3Q発売予定。正式名はダルベポエチン アルファ注シリンジ「KKF」。

医薬：主要アイテムの売上収益(海外)

製品名など	2017年 実績	2018年 実績	前年比	増減要因	2019年 通期予想	前年比
Crysvita	—	77	+77(-%)	新発売	非開示	—
POTELIGEO	—	21	+21(-%)	新発売	100	+378%
Abstral	119	128	+8(+7%)	着実な市場浸透	123	-4%
技術収入	160	158	-2(-1%)		129	-18%
うち、Fasenraロイヤルティ*	—	33	+33	新発売(AstraZeneca社)	非開示	—

(単位は億円、単位未満四捨五入) *売上ロイヤルティのみ。当社独自の見積りを含む。

売上収益 -29億円
(うち為替 +2億円)



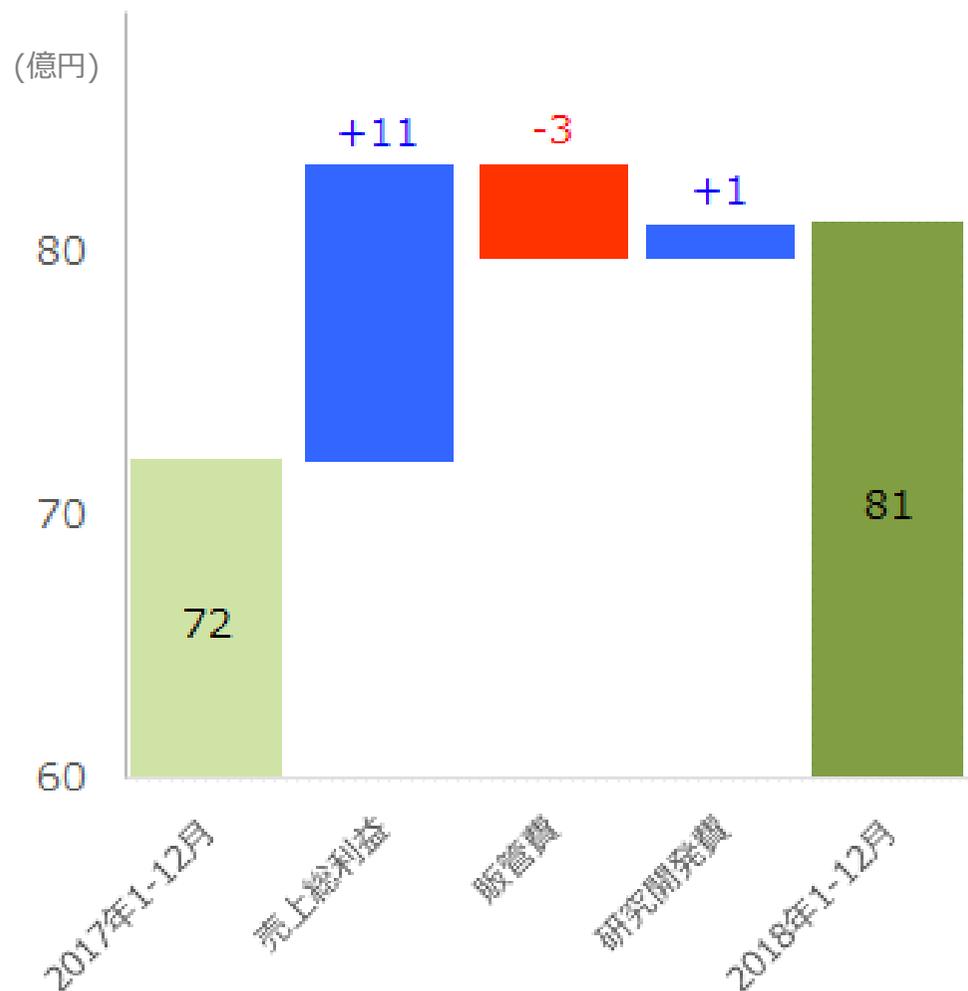
- **海外売上 -14億円 (うち為替 +2億円)**
- **米州 -8億円 (うち為替 -2億円):**
一部品目の競争激化により減収。
- **欧州 -7億円 (うち為替 +5億円):**
一部品目の競争激化により減収。
- **アジア他 +0億円 (うち為替 -1億円)**

- **医薬・健康食品用原料 -11億円**
- 一部品目のラインナップ整理により減収。

- **通信販売など +4億円**
- 主にアルギニンEX、シトルリンが伸長。

- **その他 -8億円**
- 主に植物成長調整剤事業譲渡の影響。

コア営業利益 +9億円
(うち為替 +0億円)



- **売上総利益 +11億円 (うち為替 +1億円)**

- 海外工場への生産シフトによるコストダウンが寄与。

- **販管費 -3億円 (うち為替 -0億円)**

- 通販事業拡大のための広告宣伝費の増加。

GSPとしての更なる飛躍を目指して

2016-2020年中期経営計画での重要目標の達成（～2018年）

グローバル競争力の向上

イノベーションへの挑戦

卓越した業務プロセスの追求

健康と豊かさの実現

◆ 米 KRN23
Breakthrough
Therapy指定

◆ 日 ルミセフ
新発売

◆ 欧米 Crysvita
申請

◆ 欧米 POTELIGEO
申請

◆ 米 KW-0761
Breakthrough
Therapy指定

◆ 日 オルケディア
申請

◆ 欧米 Crysvita
承認/**新発売**

◆ 米 POTELIGEO
新発売

◆ 欧 POTELIGEO
承認

◆ 欧 Hulio
販売開始

◆ 日 RTA 402
先駆け指定/Ph3
開始

◆ 日 オルケディア
新発売

G
S
P
へ
の
飛
躍

2016

2017

2018

2019

外部環境

- ◆ 日：薬価制度の抜本改革・MR活動を取り巻く環境の変化
- ◆ 米：医療政策の不透明化
- ◆ 欧：英国のEU離脱による市場の環境変化

戦略的課題（2019～）

- ◆ グローバル戦略品の価値最大化
- ◆ 国内新薬の市場浸透促進
- ◆ 将来の成長に向けた価値創造
- ◆ グローバルガバナンスの強化

GSPとしての更なる飛躍を目指し、必要な打ち手を実行

- ◆「One Kyowa Kirin」体制の構築
- ◆協和発酵キリングループの事業構造変革

北米を独立した地域として新設し、
地域軸(日本・EMEA・北米・アジア/オセアニア) × 機能軸
でのマトリックスによるマネジメントを開始

KYOWA KIRIN



2019年4月以後のグローバルマネジメント体制

協和発酵バイオの価値最大化と
協和発酵キリンの医薬事業への経営資源集中へ

キリンホールディングス

KIRIN

協和発酵
キリングループ

KYOWA KIRIN



協和発酵バイオ

健康領域での
事業開発スピードの向上へ

GSPとしての
飛躍的な成長に集中

キリンとの更なる
シナジーの創出を加速

◆グローバルな事業モデルへのスピーディーな転換と
国内事業基盤の強化

→ 希望退職の募集

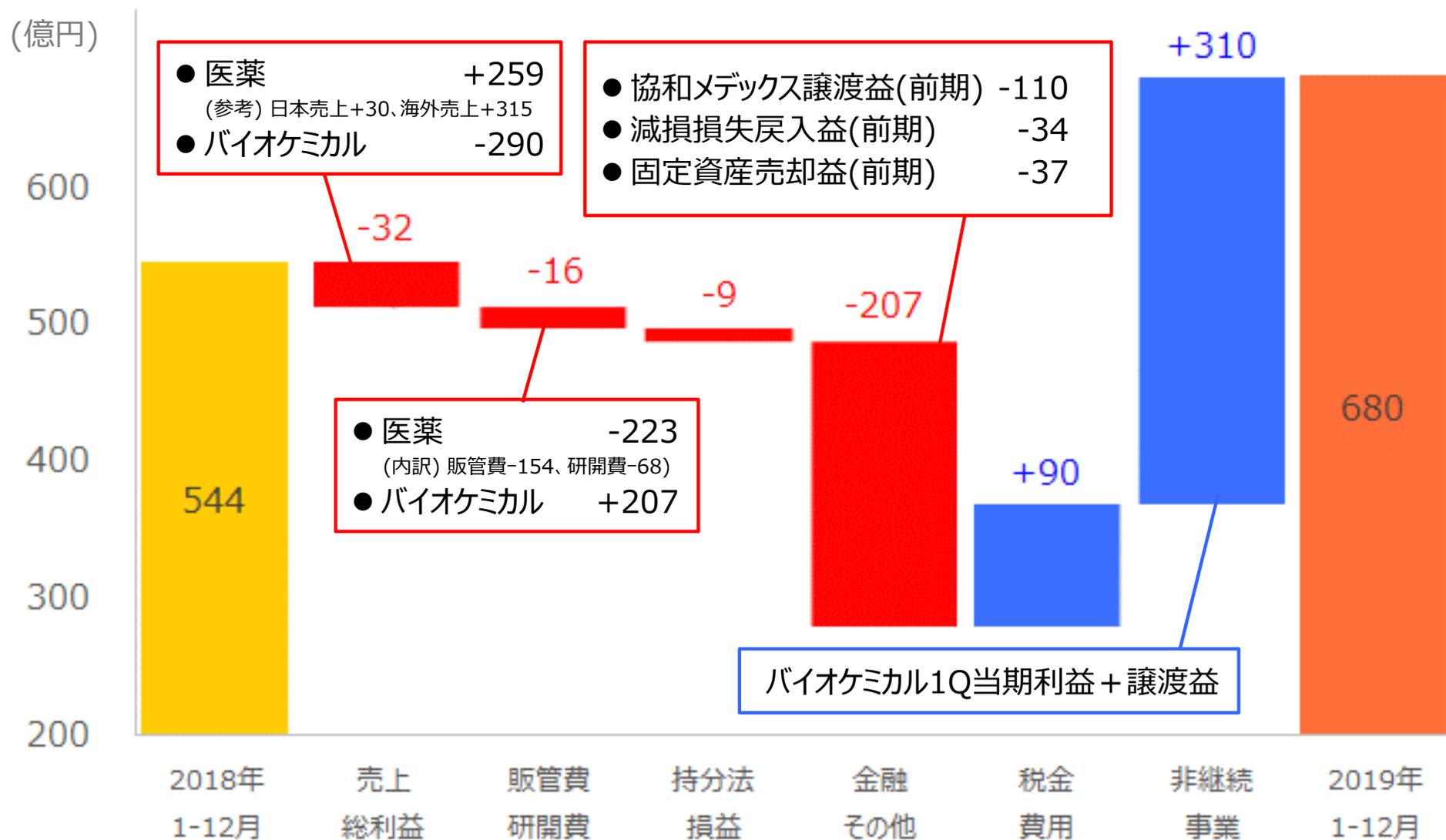
2019年度業績予想

2019年度 連結業績予想

	2018年 実績	2019年 予想	増減 (率)
売上収益	3,465	3,050	-416 (-12%)
医薬事業	2,715		+335 (+12%)
コア営業利益 [コア営業利益率]	587 [16.9%]	530 [17.4%]	-57 (-10%)
医薬事業	503 [18.5%]		+27 (+5%)
当期利益	544	680	+ 136 (+25%)

(単位は億円、単位未満四捨五入)

当期利益 +136億円



中期経営計画の見通し



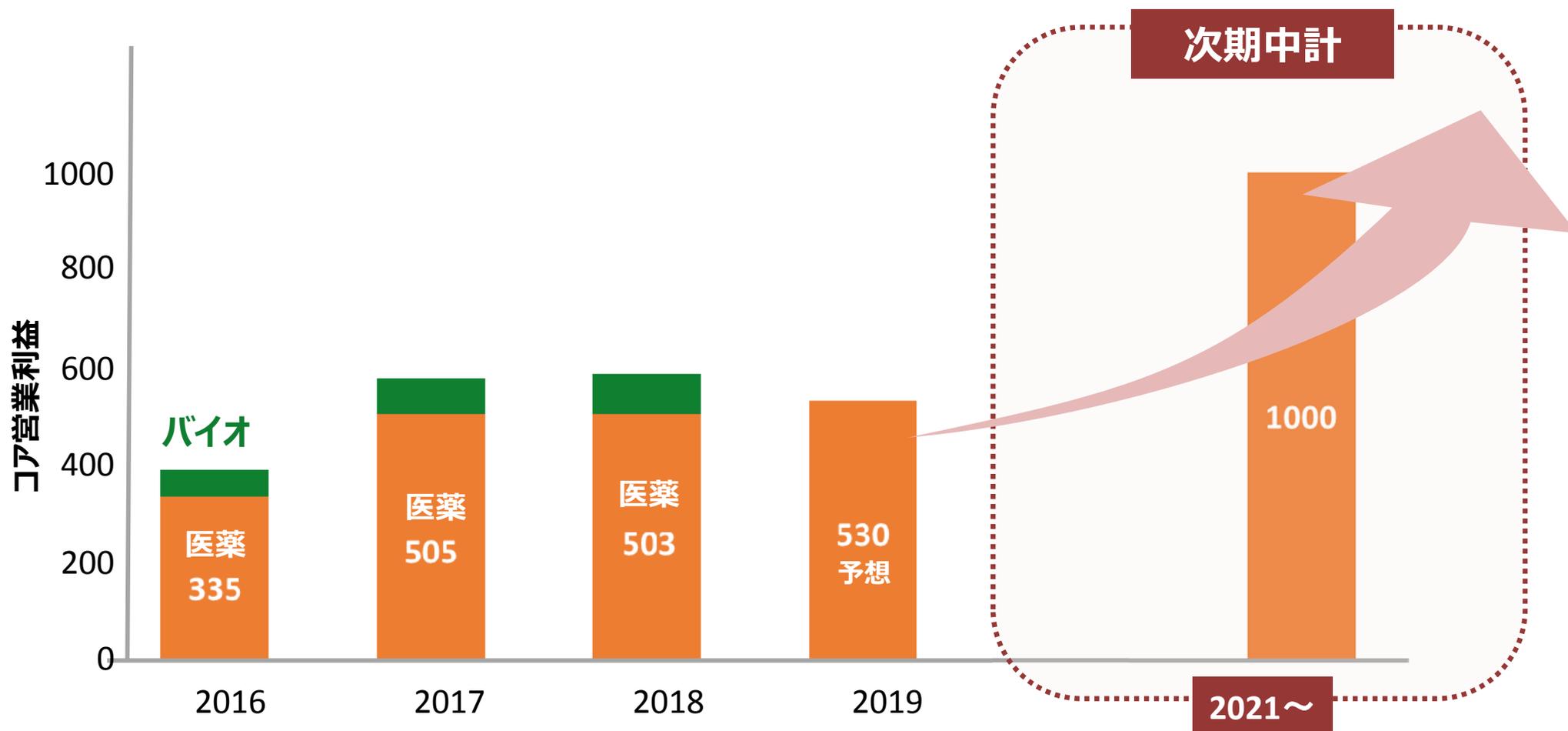
- **グローバル戦略品**：欧米におけるグローバル戦略品（Crysvita、POTELIGEO）の上市
- **国内新製品**（ルミセフ、オルケディア、リツキシマブ[®]BS）の上市
- **BS事業**：欧州におけるHulioの発売開始



- **グローバル戦略品**：中計策定時に想定した最速の上市プランからの遅れ、KW-6002の申請遅延
- **グローバル戦略品の収益拡大・価値最大化に向けた販管費の先行的投入**（グローバル販売体制整備・拡充等）
- **BS事業**：中計策定時に想定した販売開始時期からの遅れ
- **事業構造変更による足元業績へのマイナス影響**（KMX、KHB）

コアOP 1,000億円達成目標は次期中計へ

グローバル戦略3品の着実な価値最大化により、
 経営目標「コア営業利益1,000億円」「ROE10%以上」
 「海外売上比率50%」の2020年代早期の達成を目指す



株主還元策について

取得について

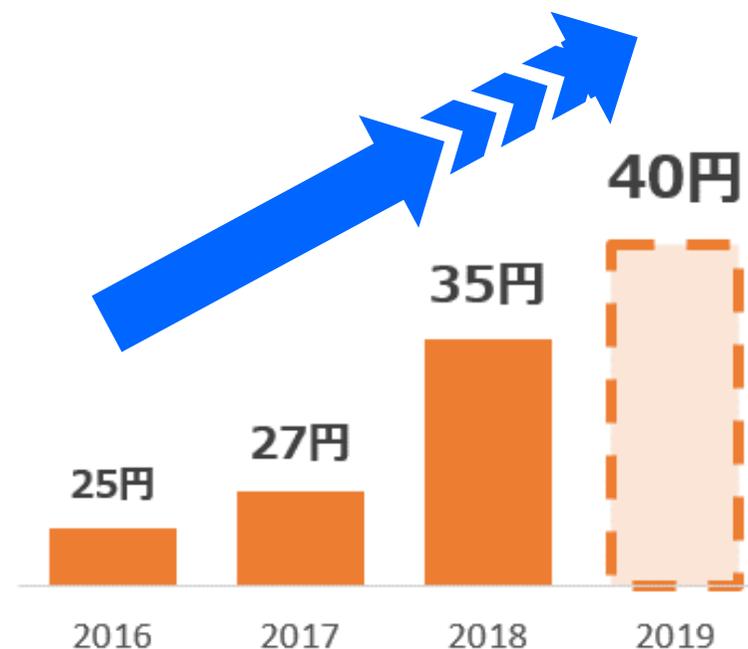
- 取得目的 資本効率の向上及び株主還元の更なる充実
- 取得日 2019年2月6日
- 取得株数 10,700,000株 (上限)
- 取得価額 270億円 (上限)
- 取得方法 自己株式立会外買付取引 (T o S T N e T - 3)

消却について

- 消却目的 将来の希薄化懸念の払拭
- 消却日 2019年2月19日 (予定)
- 消却株数 今回の取得株数 + 25,783,555株

- 2018年の年間配当は、**8円増配の35円**
- 2019年の年間配当は、さらに**5円増配の40円 (予定)**
- その後も、**配当性向40%をベースに継続増配 (目標)**

年度	年間配当金		配当性向	ROE*	
	中間	期末			
2016	12.50	12.50	25.00	44.9%	5.3%
2017	12.50	14.50	27.00	34.4%	7.2%
2018	15.00	20.00	35.00	35.2%	8.6%
2019 (予定)	20.00	20.00	40.00	31.7%	10.5%



*ROE: Return On Equity (自己資本当期利益率)

[利益配分に関する基本方針]

今後の事業展開への備えなど内部留保の充実を図るとともに、連結業績や配当性向などを総合的に勘案しながら、安定的な配当を行います。

- **自己株取得** 市場環境・財務状況を踏まえて機動的に実施します。
- **内部留保** 将来の企業価値向上に資する研究開発、設備投資、開発パイプラインの拡充など新たな成長につながる投資に充当します。
- **配当** 中期経営計画で掲げた連結配当性向40%を目処とし、利益の成長に応じた安定的かつ継続的な配当水準の向上を目指します。

2018年度R&Dレビュー

2018年の主な進捗状況 (1)

一般名 開発コード	適応症	国・地域	時期	概要
Bardoxolone methyl RTA 402	糖尿病性腎臓病	日本	3月	先駆け審査指定制度の対象品目に指定
			5月	フェーズ3試験開始
Benralizumab KHK4563	気管支喘息	欧州	1月	販売承認* (製品名: Fasentra)
		日本	1月	製造販売承認* (製品名: ファセンラ皮下注)
Brodalumab KHK4827	乾癬	アジア	4月	製造販売承認 (台湾)、承認申請 (香港)
			7月	承認申請 (韓国)
			8月	製造販売承認 (タイ)
Burosumab KRN23	XLH (小児)	欧州	2月	条件付き販売承認 (製品名: Crysvita)
		北米/欧州/日本/韓国/豪州	5月	フェーズ3試験で主要評価項目を達成
	XLH (小児・成人)	米国	4月	販売承認 (製品名: Crysvita)
		カナダ	12月	販売承認 (製品名: Crysvita)

※ 2018年1月1日～2018年12月31日に発生したイベントを記載しています

* 申請者はAstraZeneca社

2018年の主な進捗状況 (2)

一般名 開発コード	適応症	国・地域	時期	概要
Evocalcet KHK7580	維持透析下の二次性 副甲状腺機能亢進症	日本	3月	製造販売承認（製品名：オルケディア錠）
Granisetron -	催吐性化学療法剤 による悪心および嘔吐	マレーシア	1月	販売承認（製品名：Sancuso）
Mogamulizumab KW-0761	CTCL	米国	5月	FDA審査終了目標日の変更
			8月	販売承認**（製品名：Poteligeo）
		欧州	11月	販売承認**（製品名：Poteligeo）
KHK4083	アトピー性皮膚炎	米国、欧州、 日本	10月	フェーズ2試験開始
KW-6356	パーキンソン病	日本	11月	フェーズ2試験開始

2018年の主な中止案件：

- 固形癌を対象としたmogamulizumabの併用療法に関する開発

※ 2018年1月1日～2018年12月31日に発生したイベントを記載しています

** 適応症はMFとSS

- **KHK4083のアトピー性皮膚炎を対象としたフェーズ2試験の開始
(日本、北米、欧州)**

ClinicalTrials.gov identifier: NCT03703102

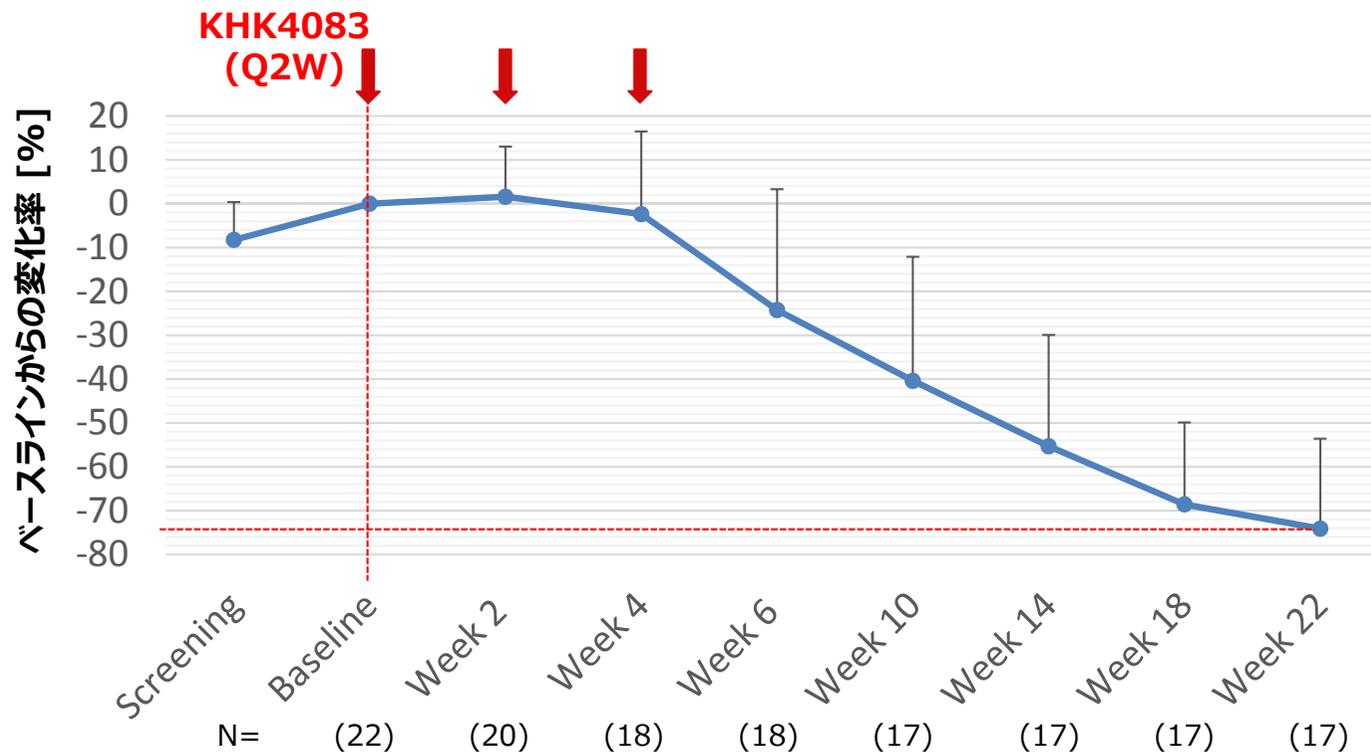
試験デザイン



- 対象：中等度～重症アトピー性皮膚炎患者
- 併用薬：保湿剤のみ（外用ステロイド剤は投与開始1週前から禁止）

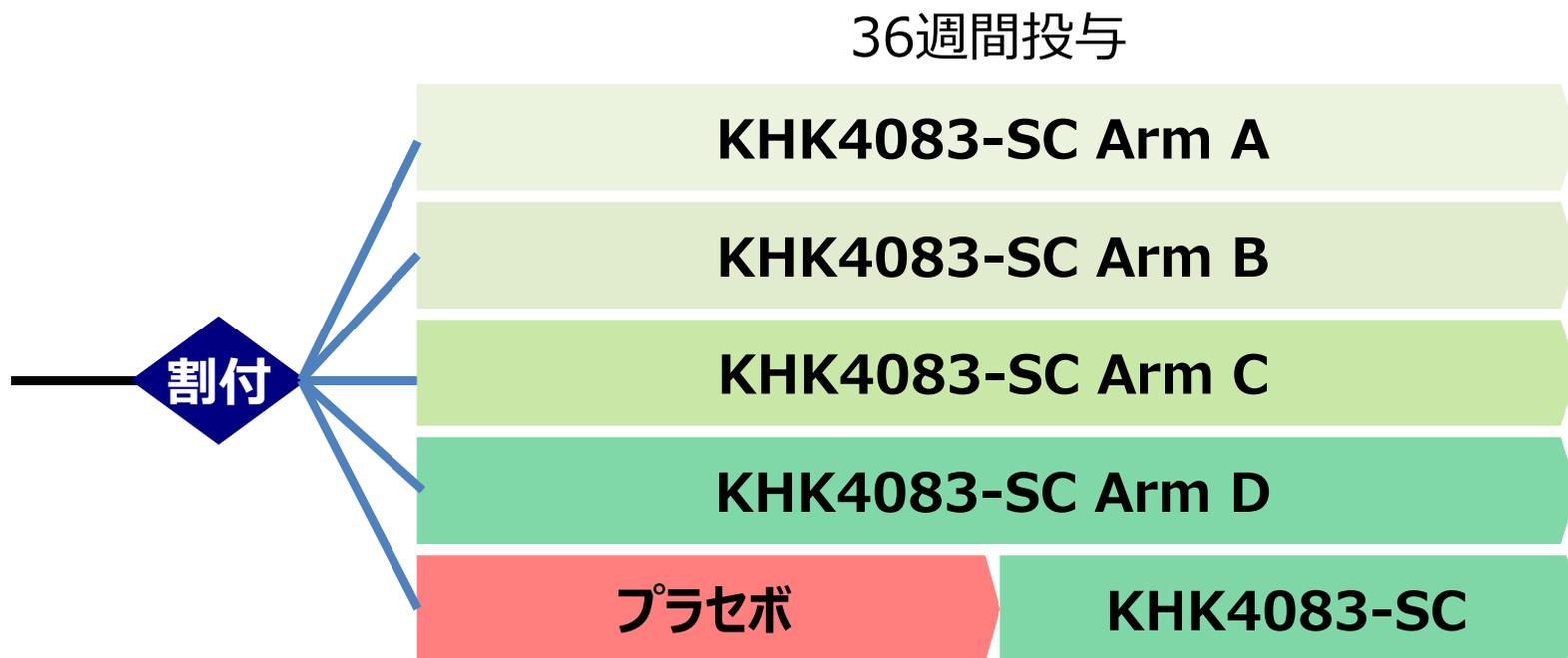
EASIスコア変化率 (レスキュー症例のデータは除く)

EASI: The eczema area and severity index



**22週時におけるEASIスコアがベースラインから74.12%低下
KHK4083投与終了後の持続した改善効果を確認**

- 中等症～重症アトピー性皮膚炎患者を対象としたプラセボ対照二重盲検比較試験

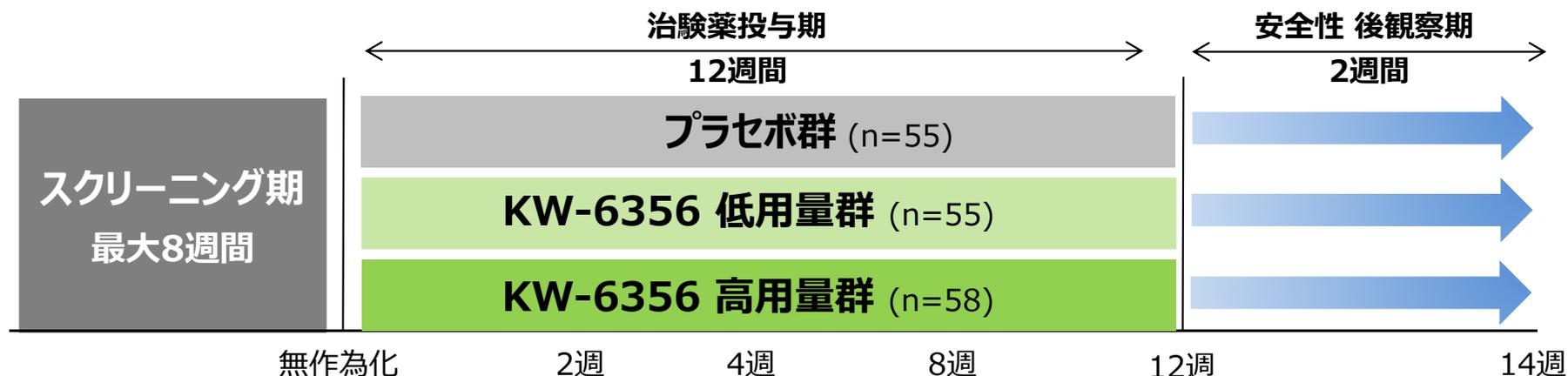


- 主要評価項目 : 16週時におけるEASI のベースラインからの変化率
- 目標症例数 : 250例

- **KW-6356のパーキンソン病を対象としたフェーズ2b試験の開始
(日本)**

ClinicalTrials.gov identifier: NCT03703570

試験デザインの概略



主要評価項目; 12週時点におけるMDS-UPDRS* パート3 (運動症状) スコアのベースライン値からの変化

	最小二乗平均	95%信頼区間	平均値の差 (KW-6356群-プラセボ群)	95%信頼区間
プラセボ群	-3.14	-4.97, -1.30		
KW-6356 低用量群	-5.37	-7.25, -3.48	-2.23	-4.86, 0.40
KW-6356 高用量群	-4.76	-6.55, -2.96	-1.62	-4.19, 0.94

KW-6356投与群のいずれにおいてもプラセボ群と比べ、スコアの減少量は大きかった。

*Movement Disorder Society-Unified Parkinson's Disease Rating Scale

レボドパ含有製剤で治療中のパーキンソン病患者*を対象とした、KW-6356の有効性および安全性を評価するための、多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照フェーズ2b試験



主要評価項目; MDS-UPDRS パート3 (運動症状) スコアのベースライン値からの変化
目標症例数; 486名

*改訂版Hoehn&Yahr重症度分類上のステージ2~4であるパーキンソン病患者
かつ、MDS-UPDRS パート3 スコアが15以上の患者

- **Burosumab/KRN23のFGF23関連低リン血症性くる病・骨軟化症を適応症とした製造販売承認の申請（日本）**

※ 2019年1月1日～2019年2月4日に発生したイベントを記載しています

ビジネストピックス

医療ニーズを踏まえた国内腎領域事業の強化

2018

- 3月 オルケディア承認取得、RTA 402 さきがけ指定取得
- 5月 RTA 402の糖尿病性腎臓病を対象とした国内Ph3開始
- 8月 ダルベポエチン アルファ注シリンジ「KKF」 承認取得
- 11月 ダプロデュスタットの国内における戦略的販売提携契約締結 (GSK)

腎機能の低下

慢性腎臓病 ステージの進行

保存期 (CKD ステージ3-5期)

腎不全 (透析) 期

併存・
原疾患

高血圧

コニール (1991) コバシル (1998)

糖尿病

オングリザ (2013)

RTA 402

貧血

ネスプ (2007)
ダルベポエチン アルファ「KKF」 (2019 予定)

ダプロデュスタット

合併症

CKD-MBD

レグパラ (2008)
オルケディア (2018)

ロカルトロール (2001)

フォスブロック (2003)

Tenapanor

上市品

開発品

- 久光製薬が開発を進めている経皮吸収型パーキンソン病治療剤HP-3000（一般名：ロピニロール塩酸塩）の日本国内での販売に関する契約を締結

Appendix

期中平均為替レート

通貨	2017年 実績	2018年 実績	前年比	2019年 通期予想
米ドル (USD/円)	112円	110円	-2円	110円
ユーロ (EUR/円)	126円	131円	+5円	130円
英ポンド (GBP/円)	144円	148円	+4円	145円

2018年 為替影響額 (前年比)

セグメント	通貨	売上収益	コア営業利益
医薬事業	米ドル	-3億円	-1億円
	ユーロ	+1億円	+0億円
	英ポンド	+10億円	-1億円
バイオケミカル事業	米ドル	-3億円	-2億円
	ユーロ	+5億円	+3億円

2019年度業績予想 為替感応度

為替レートが業績予想の前提から1円高になった場合の通期影響額試算

通貨	売上収益への影響	コア営業利益への影響
米ドル	約4.5億円減少	約3.1億円減少
英ポンド	約3.1億円減少	約1.1億円増加

Burosumab : Ultragenyx社とのコラボレーション (まとめ)

	KHK group	Ultragenyx
アメリカ カナダ	<ul style="list-style-type: none"> ● 売上計上 ● 上市後5年間の50/50の利益シェア ● 上市後5年以降、Ultragenyxへの20%台のロイヤルティ支払い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 上市後5年間の50/50の利益シェア ● 上市後5年以降、KKIから20%台のロイヤルティ受け取り
ヨーロッパ	<ul style="list-style-type: none"> ● 売上計上 ● Ultragenyxへの10%以下のロイヤルティ支払い 	<ul style="list-style-type: none"> ● KKIから10%以下のロイヤルティ受け取り
メキシコ 中南米	<ul style="list-style-type: none"> ● Ultragenyxから一桁台のロイヤルティ受け取り 	<ul style="list-style-type: none"> ● 売上計上 ● KHKに一桁台のロイヤルティ支払い
トルコ	<ul style="list-style-type: none"> ● Ultragenyxから20%以下のロイヤルティ受け取り ● 将来、販売権をUltragenyxから引き継ぐオプションあり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 売上計上 ● KKIに20%以下のロイヤルティ支払い
アジア オセアニア 中東など	<ul style="list-style-type: none"> ● 売上計上 	

※全地域において、製品の製造はKHKが行う

主なパイプラインの開発予定 – 振り返り

2018年12月31日現在

★：当局による製造販売承認可否の判断が期待される時期

一般名 開発コード	適応症	国・地域	2018	2019	2020~
Bardoxolone methyl RTA 402	糖尿病性腎臓病	日本	✓ FPI	Phase 3	
Benralizumab ¹ KHK4563	COPD	欧米		未定	
		日本		未定	
Brodalumab KHK4827	乾癬	アジア	✓ 申請/承認	申請/★	
	体軸性脊椎関節炎	日本、韓国、台湾		Phase 3	申請
Burosumab ² KRN23	XLH	欧州	✓ 承認 (小児)	★ (成人)	
		米国	✓ 承認		
		日本		申請/★	
Entinostat KHK2375	乳癌	日本		Phase 2	
Istradefylline KW-6002	パーキンソン病	米国		申請/★	
Mogamulizumab KW-0761	CTCL	米国	✓ 承認 ³		
		欧州	✓ 承認 ³		
Romiplostim AMG531	再生不良性貧血	日本	✓ 申請	★	
		韓国		申請	★
	IITP	中国		申請	★

1: 申請者はAstraZeneca社

2: Ultragenyx社との共同開発

3: 適応症はMFとSS

主なパイプラインの開発予定 – 振返り（続き）

2018年12月31日現在

一般名 開発コード	適応症	国・地域	2018	2019	2020~
Bleselumab ASKP1240 ⁴	腎移植患者における 再発性FSGS	米国		Phase 2	
KHK4083	潰瘍性大腸炎	欧米		Phase 2	
	アトピー性皮膚炎	欧米日	✓ FPI	Phase 2	
KW-6356	パーキンソン病	日本	✓ FPI	Phase 2	

主なパイプラインの開発予定（2019年以降）

2018年12月31日現在

★：当局による製造販売承認可否の判断が期待される時期

一般名 開発コード	適応症	国・地域	2019	2020	2021~
Bardoxolone methyl RTA 402	糖尿病性腎臓病	日本	Phase 3		
Bleselumab ASKP1240 ¹	腎移植患者における 再発性FSGS	米国	Phase 2		Phase 3
Brodalumab KHK4827	乾癬	アジア	申請／★		
	体軸性脊椎関節炎	日本、韓国、台湾	Phase 3	申請／★	
Burosumab ² KRN23	XLH（成人）	欧州	申請	★	
	XLH ³	日本	申請／★		
Entinostat KHK2375	乳癌	日本	Phase 2		
Evocalcet KHK7580	PHPT	日本	申請	★	
	SHPT	アジア	Phase 3		
Istradefylline KW-6002	パーキンソン病	米国	申請／★		
Mogamulizumab KW-0761	HAM	日本	申請	★	
Romiplostim AMG531	再生不良性貧血	日本	★		
		韓国	申請	★	
	ITP	中国	申請	★	

1: アステラス製薬社との共同開発

2: Ultragenyx社との共同開発

3: 申請した適応症はFGF23関連低リン血症・骨軟化症

主なパイプラインの開発予定（2019年以降）

2018年12月31日現在

一般名 開発コード	適応症	国・地域	2019	2020	2021~
KHK4083	潰瘍性大腸炎	欧米	Phase 2		Phase 3
	アトピー性皮膚炎	欧米日	Phase 2		Phase 3
KHK7791	慢性腎不全における 高リン血症	日本	Phase 2		Phase 3
KW-6356	パーキンソン病	日本	Phase 2		Phase 3
ME-401	B細胞悪性腫瘍	日本	Phase 1	Phase 3	

2018年12月31日現在

製品名	適応症	国・地域	時期	概要
ドボベツゲル	尋常性乾癬	日本	2月	製造販売承認
			6月	上市
リツキシマブBS 点滴静注	<ul style="list-style-type: none"> • CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫 • 免疫抑制状態下のCD20陽性のB細胞性リンパ増殖性疾患 • ヴェゲナ肉芽腫症、顕微鏡的多発血管炎 	日本	1月	上市

※ 2018年1月1日～2018年12月31日に発生したイベントを記載しています

開発コード	先行バイオ医薬品		国・地域	開発段階		
	一般名	商品名		フェーズ2	フェーズ3	申請
FKB327 ¹	アダリムマブ	ヒュミラ	米国/その他			
FKB238 ²	ペバシズマブ	アバスチン	米国/欧州/その他			
非開示	非開示	非開示	非開示（品目決定）			

注) バイオシミラー医薬品は協和キリン富士フィルムバイオロジクス株式会社（FKB）が開発

ClinicalTrials.gov identifier: ²NCT02810457

¹欧州承認済み。欧州においては、提携先のMylan社により販売中（Brand Name: Hulio）

²AstraZeneca社とFKBの合併会社（Centus Biotherapeutics社）が開発中

BS	Biosimilar (バイオ後続品)
COPD	Chronic Obstructive Pulmonary Disease (慢性閉塞性肺疾患)
CTCL	Cutaneous T-Cell Lymphoma (皮膚T細胞性リンパ腫)
CKD	Chronic Kidney Disease (慢性腎臓病)
DKD	Diabetic Kidney Disease (糖尿病性腎臓病)
ESRD	End Stage Renal Disease (末期腎不全)
FSGS	Focal Segmental Glomerulosclerosis (巣状糸球体硬化症)
HAM	HTLV-1 Associated Myelopathy (HTLV-1関連脊髄症)
ITP	Idiopathic (immune) Thrombocytopenic Purpura (慢性特発性(免疫性)血小板減少性紫斑病)
MF	Mycosis Fungoides (菌状息肉腫)
PHPT	Primary Hyperparathyroidism (原発性副甲状腺機能亢進症)
SHPT	Secondary Hyperparathyroidism (二次性副甲状腺機能亢進症)
SS	Sézary Syndrome (セザリー症候群)
XLH	X-linked Hypophosphatemia (X染色体連鎖性低リン血症)

KYOWA KIRIN

協和発酵キリングroupは、ライフサイエンスとテクノロジーの進歩を追求し、新しい価値の創造により、世界の人々の健康と豊かさに貢献します。

本資料のお問合せ先

協和発酵キリン株式会社

コーポレートコミュニケーション部 IRグループ 03-5205-7206